

中央研究院生物医学科学研究所 (Institute of Biomedical Science, Academia Sinica, Taiwan) 李永凌博士 (Lee Yungling, MD Ph.D)のラボではポストドクを募集しています。免疫学のバックグラウンドを持ち、皮膚における樹状細胞を中心とした免疫反応に興味を持つ、若き研究者を求めています。

李博士のラボでは、皮膚疾患における免疫応答に対する研究を行っています。現在では、アトピー性皮膚炎 (Atopic dermatitis: AD) の発症機序の解明がメインプロジェクトです。

AD 患者の皮膚では、黄色ブドウ球菌を主とする細菌類、また真菌類の異常増殖が認められます。これは常在微生物層におけるバランスの破綻がもたらした結果であり、このような特定の常在微生物の有意な増殖は AD 発症のメカニズム解明に対する大きなヒントとなるとされています。李博士はこの現象に注目し、異常増殖した細菌および真菌がどのように宿主の免疫応答をコントロールするかを明らかにするべく研究に邁進されています。

最近では、樹状細胞に焦点を当て、AD モデルマウスを用いた樹状細胞サブセット解析や C 型レクチン (C-type lectin: CLR) を介して樹状細胞を活性化する、微生物由来の新規リガンドの同定を行っています。

これまでに細菌由来の数種類のリガンドが樹状細胞を活性化し、種々の免疫応答を誘起するという新しい知見を得ています。今後は、モデルマウス (AD、CLR-KO) および臨床検体を用いた研究を展開し、1-2 年を目途に研究成果をまとめる予定です。

AD の発症機序については既に様々な説が提唱されていますが、未だに明確な結論が出ていません。李博士は樹状細胞こそがキープレイヤーと考え、AD 克服に向けた価値ある研究成果を挙げ、社会に貢献することを目指しています。

その他情報は以下をご覧ください。

李博士ラボ HP

http://www.ibms.sinica.edu.tw/pi_webpage/blue_style2016/index.php?p_id=86&journal_info_sysid=5010606

募集における詳細

地位：博士後研究人員 (ポストドク)

待遇：年俸制 (約 790,000 NTD=約 290 万円)、有給休暇、各種保険、期末手当あり

任期：特になし (研究状況から 2-3 年)

勤務地：中央研究院生物医学科学研究所 (台湾台北市)

着任時期：随時

学位：博士 (医学、生物学分野で学位を取得した者)

専門：免疫学 (免疫学研究に意欲があれば、分子生物学等の異なるバックグラウンドでも可)

求めるスキル：フローサイトメトリー、細胞培養、動物実験、その他基礎的な分子生物学および細胞生物学的手技

応募に必要な書類：

1. CV
2. 研究業績目録（主要論文、競争的資金獲得実績など）
3. 学位証明書

選考手順：応募書類を確認後、必要に応じて面談（現地またはスカイプなど）

着任までに必要な期間：約3ヶ月（台湾政府への招聘申請、VISA など）

その他注意事項

・ Academia Sinica は台湾政府総督府直轄のアカデミー型総合研究機関であり、約30の研究部門を持ちます。国際色豊かで、日本人研究者の方々も活躍されています。

・ 公用語は中華語（標準北京語）ですが、ラボ内のミーティングや日常会話は英語を用いています。

・ 給与額は日本円換算すると日本のポストク標準額を下回りますが、台湾の物価などから考えると、平均以上の生活ができると思います。

・ 日常生活は日本と同等ですので心配いりません。食文化は近いため、大抵のものは食べられます。公共サービス、インフラ整備なども日本と遜色ありません。

・ 台北の治安は良好です。特に Academia Sinica のある地域は旧市街ではありますが、住宅地域であるため、通常静かで問題はありません。

・ 募集についてお問い合わせいただく場合は、日本語で構いません。ただし、応募書類は英語で作製してください。

お問い合わせ、応募先

E-mail: amsi.japaninc@gmail.com